

「Zで試して欲しい50のこと」

ニコン Z 7II & Z 6II は、基本性能はもちろんだけど、スペックで表せないホントに細かい配慮や実効性が高い性能が撮影者を気持ちよくさせてくれるんです！ だからぜひ試してほしい！

そんなわけで今回は、前回の企画でレビューターの皆さんが使って実感され、レビューに投稿いただいた感想や評価などを参考に「Zで試して欲しい50のこと」をご用意しました。試してみたくなるポイントが盛りだくさんです。

瞳 AF

1. 集合写真撮影でスナップ写真そのままの設定でピンをとろうとしたとき、**小さな顔でもしっかり瞳検出**までできてビックリ！

動物 AF

2. 設定は初期のままでとりあえず AF-C+全面 AF にしただけですが、**いきなりのジャスピンにびっくり仰天**。
3. 猫にカメラを向けると**すぐに顔を認識**してくれた。

暗所 AF

4. 今まで AF は暗いところでは働かないと思っていたが、**真っ暗な部屋で Z を使ってみて、AF が働いたことは驚き**だった。星空撮影、ND10000 などをつかった長秒撮影、深夜の山中でのキノコ撮影などで活用できる。

ターゲット AF

5. 鉄道のような規則的な動きをするものには、まず**失敗なく AF が追尾**する。まるでゲームをしているようで、ターゲットが枠に入ったら、ひたすら連写モードで撮影するだけだ。

ワイドエリア AF (L)

6. ワイドエリア AF (L) での顔、瞳、動物検出も新たに搭載。**精度が増して**かなり使えるレベルになった。

センサー

7. 裏面照射型 CMOS センサーと画像処理エンジンとの連携で、**解像感やノイズ特性などを高め**、画像編集を経てもプロが満足できる画質。4575 万画素の **Z 7II のセンサーは、感度全域でダイナミックレンジが広く、豊かな階調表現**が得られる。また、2450 万画素の **Z 6II のセンサーは、最高感度 ISO 51200 の優れた高感度性能**を発揮する。

電子ビューファインダー

8. レフ機からの買い替えで不安だったファインダーの見え方が、**一番自然で違和感が少なかった**ので、ニコンを選んだ。
9. 撮影情報や**写りを確認しながら撮影出来る** EVF は見やすかった。
10. 撮影中、撮影したという満足感を与えてくれ、**撮影意欲がわく**。
11. **ファインダーの拡大表示が重宝**。一番使うので、シャッターに一番近い録画のボタンにこの機能を割り当てている。

チルト式画像モニター

12. **モニターチルト時のアイセンサー自動オフ機能**は、ローアングルで子どもたちを追っかけて撮影する機会が多い私には、とても助かる機能。意図せずに画面が消えて、撮り直しが効かない決定的瞬間を逃すこともあるので、この機能は非常に有用だ。
13. 星を撮ってみて**微光星もモニターで見える**ので構図が決めやすいと感じた。
14. チルト式画像モニターは、ピンチやスワイプによる拡大画像でのピント確認ができる。

感度

15. Z 7II の**最低 ISO 感度が ISO64**なのが良く、ISO100 に比べ 2/3 段も露出を暗くできる。他メーカーだとここが拡張感度になってしまいダイナミックレンジが落ちるが、ニコンは落ちない。
16. 高感度と強力な手振れ補正にサイレント撮影で無振動連写することで、一昔前では三脚を使わないと取れなかった**夜の街が手持ちで撮れる**のには感動した。

手ブレ補正

17. 手ぶれ補正や連写を活用した**スローシャッターでの表現**が面白い。
18. **2 段~3 段くらいはしっかりと止めることが出来る**ということが分かった。これであればスナップや失敗が許されにくい場所でも積極的に使っていける。
19. **1/5 秒を片手で撮っても手ブレを防ぐことが可能**。幅広いシャッタースピードを使えることで、作品の幅が大変広がる。

シャッター

20. 高速フレームキャプチャなら、動画ライブビューで 200 万画素の静止画を**最速約 120 コマ/秒**、または 800 万画素の静止画を最速約 30 コマ/秒を、AF/AE 追従で撮影できる。
21. **最長 900 秒までのシャッター速度**の設定が追加され、オリオン大星雲の撮影に活躍した。

サイレント撮影

22. 先幕、後幕ともに電子シャッターを使用する「サイレント撮影」が可能。シャッター音、シャッター動作による機構ブレがないので、美術館、結婚式など静粛な場所での撮影や、超望遠レンズによる風景、天体の撮影など**ブレを一切排除したい場合に有効**。

連写

23. バッファ・フルを起こすことはまずないほどのメモリの搭載と、**メカシャッターで最速秒14コマの高速連写**は新しい撮影スタイルを提供してくれた。

ボディ

24. 軽いだけでなく、触っただけで造りがしっかりしていると分かる。

回折補正

25. F7.1の解像感をF11はもちろん、F22まで一貫して保つという**驚くべき回折補正力**。
26. 回折補正のおかげで極端に絞り込んで撮影しても美しい描写が得られた。

アクティブD-ライティング

27. 逆光時の撮影等で、空のグラデーションなどのハイライト部とシャドー部の輝度差の大きい場合でも、**白とび、黒つぶれの両方を抑えながら適度なコントラスト**を保ち、見た目に近いトーンを再現。

ハイライト重点測光

28. ハイライト重点測光は、画面内の最も明るい部分を基準に測光。ハイライト部の白とびを防ぎ、白いコスチュームも人物の顔も、**微妙なトーンやニュアンスを保って階調豊かに描写**できる。

ホワイトバランス

29. 3種類のオートホワイトバランスと「自然光オート」を搭載。自然光下での最適なホワイトバランスが得られる「自然光オート」は、判別すべき光源をあらかじめ自然光に限定することで、**より適切なホワイトバランスが得られる**。

カメラ内「RAW現像」

30. カメラ内「RAW現像」で**現像に要する時間が大幅に短縮**される。

水準器

31. **水準器が使いやすく**、ポートレートでは格子線を使うことが極端に少なくなった。

タイムラプス

32. **タイムラプス撮影と同時に静止画記録**とタイムラプス動画を作成できる機能は、自然風景写真のシャッターチャンスを逃さない。

ピクチャーコントロール

33. **カメラ内に搭載されたクリエイティブピクチャーコントロール** 20 種類が追加され、従来のピクチャーコントロール 8 種類と合わせて、28 種類の画作りが楽しめる。

クイックシャープ

34. [クイックシャープ] を使えば、静止画・動画にかかわらず、スライダーひとつで**ピクチャーコントロールのシャープネスを素早く簡単に一括調整可能**。

フォーカスシフト撮影

35. **深度合成の素材用**に、「フォーカスシフト撮影」でピントが合っている位置を撮影開始時の位置から無限遠に向かって自動的にずらした画像を、最大 300 コマまで簡単に取得できる。

フォーカス位置の記憶

36. セットアップメニューに追加された「フォーカス位置の記憶」を有効にしておくと、電源をオフ→オンと操作しても**前のフォーカス位置を保持**してくれる。

フリッカー低減

37. 静止画撮影時に「フリッカー低減撮影」を [する] に設定すると、フリッカーによる明るさのピークをカメラが検出し、常に「明」のピークでシャッターがきれるよう自動的にタイミングをずらして撮影し、安定した露出が得られる。

メモリーカードダブルスロット

38. 高速で信頼性の高い CFexpress (Type B) /XQD カードと SD カードを使用できる、ダブルスロットを搭載。2つのカードに同じデータを記録できる安心のバックアップ記録や、順次記録したり、RAW+JPEG の分割記録をしたりと、**撮影画像を効率的に記録**できる。

SnapBridge

39. カメラとスマートフォン/タブレットと繋がる **SnapBridge は使いやすい**、使ってもカメラ、スマホともに、バッテリーの持ちが悪くなる心配は全くない。

■ バッテリー

- 40. **USB 給電**ではモバイルバッテリーなどから給電しながらカメラが使えるということ。これは夜の長時間連続使用や極寒地での長秒撮影などには威力を発揮しそう。
- 41. 実際に撮影出来た枚数は 1,118 コマ (RAW 600 コマ+JPEG 518 コマ) で、スペック表の 330 コマの**約 3 倍も撮影できた**。
- 42. ニコンのカatalog値は、**バッテリー撮影可能枚数にしてもその数値より明らかに撮れる**。

■ 4K UHD

- 43. 4K UHD 動画を、[FX ベースの動画フォーマット] フルフレームで撮影可能。瞳 AF・顔検出 AF/動物 AF で、**狙った被写体の顔や目にピントを合わせた映像**を、容易に撮影できる。

■ Z レンズ

- 44. NIKKOR Z 24-70mm f/4 S の絞り開放望遠端の撮影ですが、ピント位置でのキリッと感とボケ具合も美しい。**望遠端 70mm で 30 センチまで寄れる**というのはかなりの性能で、良いボケが出る。
- 45. NIKKOR Z 50mm f/1.2 S の素晴らしい描写と滑らかなボケを作り出す世界に魅了されている。
- 46. NIKKOR Z 70-200mm f/2.8 VR S は開放から軸上色収差がほとんど出ずに、**本当に感動**した。
- 47. Z レンズは逆光耐性も強く、当然のように軽量・剛健で操作もシンプルで分かりやすい。ユーザが意図した通りの写真を苦も無く撮れる、そんな素晴らしいレンズだと感じた。

■ Z テレコンバーター

- 48. **2 倍のテレコン**でも画質の劣化や AF 性能の低下はまったく感じない。

■ マウントアダプター FTZ

- 49. F マウントのレンズをたくさん使ったが、全てしっかり稼働したし、Z6 II のパワーなのか、下手すると **D 系でアダプタ無しで使っていたときより軽快に動いた**。
- 50. FTZ を経由での F レンズでの撮影でも **Z マウントレンズ並みのハイクオリティ撮影**ができる。